

税金の持つ意味

学校法人洗足学園中学校

三年生 桐原 理利

「この世で確かなものは、死と税金だけである」これは、アメリカ合衆国建国の父の一人であるベンジャミン・フランクリンの言葉である。人間はいつか死ぬというは、不変の真理と言えが、税金を死と重ね合わせるのには少し皮肉に聞こえる。しかし、それほど現実性が高いということなのだろう。今回、作文を書くにあたり、国税庁のホームページの情報をはじめ、税金の持つ意味を多面的に考えてみた。

まず思いつくのは、私たちが納めた税金が、国民の「健康で豊かな生活」を実現するために、財源になっているということである。いわば「社会を支える会費」のようなもので、その結果、私たちは様々な住民サービスを享受できる。身近な例を挙げると図書館・体育館などの公共施設、日々の生活でのごみ収集、それから警察や消防署などたくさんある。

もし、税金がなければ、公共サービスを受けるのに全ての費用を自己負担せざるを得なくなる。にもかかわらず、税金に対してポジティブな見方を持つ人は、多くないように思える。それは何故なのか。

人は誰しも利己的な一面を持つ。つまり自分の利益を最初に考える。そのこと自体は当たり前のことで、責められるべきものではない。問題は、自分の利益を考えることと、他者の利益を考えることのバランスである。それは

売り手と買い手のトレードオフの関係に似ている。例えば、商品の価格を上げると売り手である自分の利益になるが、買い手の顧客にとつては不利益になる。おそらくこのバランスに、不満を持つ人が多いのではないだろうか。中学生である私は、消費税を除いて納税する立場にはないので、実際のところの不満は分からない。

しかし、利己的な人が増えると、社会の仕組みは成り立たなくなる。必要なのは「利他的な精神」である。つまり、自らの利益よりも、他者の利益を優先に考えるということである。それは、自分の利益を全て犠牲にするのではなく、周りへの配慮が大事なのだと思う。事実、過去大きな自然災害に見舞われる度に、人を助けるために多くの人々が立ち上がった。また、おもてなしの心というのも、相手への想いが優先された振る舞いである。

税金と聞くと、どこか無機質な響きがあるが、本来の意味は、社会において相互に助け合うための、「他を思いやる心」が土台にあるように思える。最終的には、お金に形を変えて徴収され、費やされる。そのため、本来の意味が振り返られることは少ない。表面的な一面だけでなく、なぜ税金が必要かという意味と共に、我々が他人を思う利他的な考えこそが、社会システムを支える。税金に対する、より深い理解が進んで行けばと思う。

生きるための税金

学校法人洗足学園中学校

三年生 木原 鈴花

私は夏休み、東京慈恵会医科大学で行われた心臓について学ぶプログラムに参加した。三つの講義、三つの実習を通じて心臓について深く学ぶことができた。

動物実験ではカエルの解剖を行った。途中麻酔から覚めてしまい、臓器を取り出ししている状況なのにも関わらず激しくあばれた。想像では胸を開いている時点でもう動かないと思ったので驚き、戸惑った。また心臓を取り出して副交感神経刺激薬のアセチルコリンを注入すると予想では動きが弱まると考えたが結果は初め逆に活発になりその後少しずつ弱くなった。

これらの例からもわかるように予想と結果というのは常に同じとは限らない。だから新薬や新しい手術法などをすぐに人に対して使うことはできない。病院の先生方は「極力、動物実験は行わない方がよい。だけれど予想外のことも発生することがあるので人に対して行う前に動物実験は行わなくてはならない。」とおっしゃっていた。

ではこの大切な実験に必要な資金はどのようにして集めるのか。ここでは科研費というものを使っているそうだ。南沢教授によると科研費とは「学術研究」を格段に発展させることを目的とする資金で審査を経て独創的、先駆的な研究に対する助成を行うものだという。これは国民の税金で成り立っているそうだ。税というのは公共的な

建物や行政などでのみ使われるという今までの考えが崩れ大きな衝撃を受けた。

もし、税という制度がなく動物実験ができなかったら。心臓の病気を例に考えてみる。先生によると赤ちゃん百人が生まれたら一人は心臓に異常をもって生まれるそうだ。厚生労働省によると昨年の出生数は98万1000人だそうなので計算すると約9810人の赤ちゃんが心臓に異常を持っているということになる。しかし多くの赤ちゃんは動物実験から初まった様々な技術の進歩により救われる。私たちの税金は新しく生まれてくる赤ちゃんたちの命をつなく役割も果たしているのだ。

さらにこれは私たちの日常にもつながる。風邪をひいたりお腹がいたくなったりといった時、薬を服用することで症状が良くなったり回復が早くなったりする。このような場合に使用する薬も私たちの税金を利用した実験があり、安全性と効果が確認されている。ここでもまた、国民の税金が活躍しているのだ。

これらの例を通してわかるように、税というのは人が生きていく上でとても重要な役割を果たしている。私たちが普段物を買ったり、人々が働いて支払う税というのは多くの人を救い、また自分自身も救ってくれる必要不可欠な大切なものだ。税のありがたみを心に留めて生きていくべきだと思う。